

平成22年3月12日

各位

上場会社名 大末建設株式会社
 代表者 代表取締役社長 山村 多計治
 (コード番号 1814)
 問合せ先責任者 管理部長 鬼頭 芳二
 (TEL 06-6121-7143)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年2月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	54,800	1,100	700	250	2.38
今回発表予想(B)	54,800	1,350	1,000	△830	△7.90
増減額(B-A)	—	250	300	△1,080	
増減率(%)	—	22.7	42.9	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	65,363	1,226	866	181	1.73

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,000	1,000	600	200	1.90
今回発表予想(B)	53,000	1,250	880	△900	△8.56
増減額(B-A)	—	250	280	△1,100	
増減率(%)	—	25.0	46.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	63,757	1,182	1,130	494	4.71

修正の理由

1. 個別業績予想

売上高につきましては、前回予想のとおりです。営業利益、経常利益につきましては、前回予想をそれぞれ2億5千万円、2億8千万円上回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、本日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」とおり、早期退職優遇制度実施に伴い、未認識債務の一括償却等による退職給付費用が約9億3千万円発生する見込みとなったこと、また、工事債権等の回収に懸念が生じたものについて、担保価値の評価等、回収可能性を再検討した結果、追加で貸倒引当金繰入額が約4億円発生する見込みとなったことから、9億円の当期純損失となる見込みです。

なお、今回の早期退職優遇制度実施による来期の人件費削減効果は約6億6千万円を見込んでおり、今後も収益重視の基本方針を堅持してまいります。

2. 連結業績予想

個別業績予想と同様の理由により修正するものです。

以上